

●平成8年第4回議会は市長の酒気帯び登庁等、不名誉な事で八王子の名がマスコミに扱われる中行われました。市長も確かに勇み足でしたので、素直に反省し陳謝をしたのですが、当日は深夜まで市民以外の活動家が大挙して庁舎内を占拠し職員も退庁できない異常事態だった事は報道されずマスコミの姿勢にも疑問を感じました。

●一般質問ではKT法（電離層モニター観測）による地震予知の活用について質問しました。これは本市追分町出身の天文家で、八ヶ岳南麓天文台の台長である串田嘉男(K)さんがFM電波を使って流星の観測中偶然に発見した地震予知の方法です。初めは地震専門家ならとくに研究していると思っていたのですが阪神大震災の予兆を発見しながらあの惨状を目のあたりにし、それ以来大好きな星の観測を中止してこの公開実験を続け、本市も地震予報を受信しその有効性を認識しています。この間内陸地震においては約9割超的中率で予知に成功しているにもかかわらず国は地震学者達の高い権威の壁に阻まれ認めようとしぬい実態に憤りを感じ、「国が認知しないなら故郷八王子がその有効性を立証し実用化に向け応援しよう」と提案しました。ちなみに、我国は世界一の地震国でありながら、その予知研究は進まず、国は年間100億、ここ10年で1000億を超える研究費を投じ、ただの一度も予知をした実績はございません。質問を機に各方面からの反響があり近く串田さんと国土庁へも都市防災の観点から説明する事となりました。

●決算審査特別委員会では横川側が整備が終わっているのに事業がストップしている都計道3・4・61号線(仮)清川橋通りについて、秋川街道の渋滞解消や浅川北岸の生活道路として重要性大と質したところ川口から大和田まで町会より要望書も提出されており早期に整備したい旨答弁があり、新年度から事業再開を約束しました。

●子安神社の中にある金刀比羅さまの200周年の祭礼があり市内から公募した福娘さんと市役所や商工会議所を福笹を持って巡りました。何せ初めての試みでしたので氏子の皆さんもどうしたものかとまどっていたのですが評判は上々。中心市街地の風物の一つになりそうです。